

太田川の舟運

太田川は広島城下と内陸部をむすぶ物資輸送の大動脈として、大きな役割を果たしてきました。江戸時代に入ると上流まで河川の改修が行われ、舟運がひらかれました。寛永期(1624~1644)には、加計あたりまで。幕末には戸河内まで通船区間が広がりました。輸送物資は年貢米・木炭・割木・紙・鉄・などで、上流から材木を運ぶ筏流しも行われました。

明治2年(1869)には、株船制度が廃止されて許可制による自由営業となり、船数も増え、明治時代に最盛期を迎えました。しかし、道路・鉄道の整備や自動車の普及など、陸上交通の進歩やダム建設にともなう水量の減少などにより次第に衰え、昭和10年代には川船による輸送は一部をのぞき終焉を迎えました。

現在、太田川は飲料水の供給など大切な役目を果たしており、昔も今も広島にとって多大な恩恵を与えてくれる「母なる大河」として親しまれています。

加計の船付場(明治43年頃)



月ヶ瀬温泉



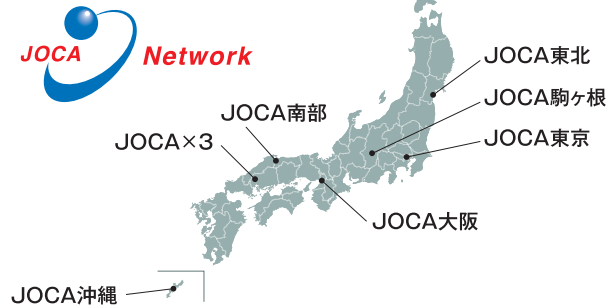
ロゴマークには太田川と先人たちへの尊敬の念が込められています。

全国各地で進む JOCAの地方創生事業

世界を元気にした人は、日本も元気にできる。

JOCAのスタッフは現在7つの拠点で、地元の方々とともに地域の特性を生かした事業を展開しています。

日本から世界へ、世界から日本へ、
“ごちやまぜ”は国境も越える!



お車の場合 広島市から約1時間

※高速道路をご利用の場合は、加計スマートI.Cまたは、戸河内I.Cをご利用ください。

月ヶ瀬温泉

〒731-3501 広島県山県郡安芸太田町大字加計3505-2

TEL:0826-22-6666



月が照ります 月ヶ瀬あたり
水も砕けて 月と寝る 月と寝る

野口雨情「加計小唄 加計やんざら節」より



月ヶ瀬温泉

安芸太田町版 生涯活躍のまち JOCA×3 プロジェクト

安芸太田町はかつて水運業で栄えたまちですが、
いまでは川の水位は下がり、鉄道は廃止され、
現在さまざまな問題に直面しています。

- ・高齡化率50%超
- ・2,700人の人口減少※
(8,600人→6,060人)
- ・約3割の人口減少※
- ・高齡化率が10%上昇※

※2004年の新町誕生後

当プロジェクトは加計地区中心地の旧旅館を改修し、
子どもから高齢者、障がいや疾患の有無、国籍等に関わらず
地域に暮らす人たちの共生拠点として有効活用する
「生涯活躍のまち」モデル事業として平成29年度に採択されました。



Before

After

天然温泉／月の湯・川の湯

積み重ねられた時に浸りながらゆったりと。
2つの個性の温泉で身も心もポカポカに。



「かえし」が自慢の蕎麦処 やまゆ月

ヒマラヤの大自然で育ったブータン蕎麦を使用。
当日製粉、当日製麺にこだわった逸品です。



老舗旅館を「サードプレイス」として再生

あらゆる人がごちゃまぜで交流できる場所



気が向いたときに気に入ったところで

ふらりとやって来て思いのままに過ごす。
ここは地域に寄り添うみんなの場所です。

アルプスの麓で焙煎した
協力隊珈琲でひと息



ワークシェア、福祉拠点として
就労継続支援事業(A型・B型)
生活介護、相談支援事業

